

地域に根ざした探究活動スタート！

～2年普通科 地域連携活動ガイダンス～

地域に根ざした高等学校として、本校は鯖江市・鯖江商工会議所と三者連携協定を締結しており、これまでも様々な場面で地域の方々や企業・団体と協働で活動してきました。2年普通科では総合的な探究の時間で、1年をかけて地域の貢献とSDGsを大きなテーマとして活動することになっており、そのスタートとして、4月19日（金）に、これから高校生と連携して活動していきたいといういろいろな事業を、鯖江市役所や各団体の担当者から直接生徒たちに提案や案内をしていただくガイダンスを実施しました。



具体的な課題が！

目まぐるしく変化していく社会状況の中で、鯖江市も人口減少や人口流出、少子高齢化、公共交通など様々な問題に直面しています。しかし、高校生にとっては直接関わりがなく、他人事として考えている生徒が多いようで、何が課題なのか、どこに問題があるのかがほとんど分かっていないのが現実です。そこで実際に現場で仕事をしている担当者から現状を説明してもらうことで、具体的な課題が理解でき、身近な問題として、自分ごととして考えるきっかけができました。

今回のガイダンスでは次の事業について説明をしていただきました。

- ・鉄道利用促進『ガチャ旅』
- ・公民館利活用アイデア創出事業
- ・子育て支援『COSAPO活動』
- ・まちなか芸術祭
- ・さばえSDGsフェス
- ・つくるさばえ
- ・地域イノベーション拠点づくり



高校生のアイデアを！

これらの課題解決のためには、幅広い人たちが参画できるようにする必要があり、担当部署の人たちと共に高校生がアイデアを出し、実際に活動し、検証していくことが大切だと強く訴えていました。若い人が活動することで新たなニーズが生まれたり、参画する人が増えたりして、街全体が活性化していくことに繋がります。ぜひ鯖江高校生と協働で街を盛り上げたいという強い気持ちが伝わってきました。



どんなことができるかな？

探究活動では最初のテーマ決めが重要ですが、今回のガイダンスによって、具体的な課題を身近なものとしてとらえることができ、自分たちにはどんなことができるかを考えてテーマを決め、ゴールを見据えた活動がイメージできるようになったと思います。また、今回のガイダンスに参加していただいた方がたからも、ポスターやチラシを配布するだけでなく、直接高校生に詳しく説明することができて有意義でしたと感想を述べられました。今後はそれぞれの活動で多くの方々からの支援を受けながら、地域に根ざした探究活動を実施していきます。